



かしま病院 院長  
渡辺 修

新年明けましておめでとうござ  
います。

社団法人養生会かしま病院  
は本年3月末で創立35周年を迎え  
ます。新しい病院のつもりでいま  
したが、いつのまにか昭和から始  
まり平成のほぼまるごと経過する  
ことになりました。

私ごとで恐縮ですが、人繋がり  
の縁でかしま病院の創立時よりお  
世話になっている私は、人生の約  
半分、医師としてのほぼ4分の3  
をかしま病院、そしてここいわき  
の地で過ごした事になります。当  
初はなかなか「よそ者意識」が抜  
けなかつた私も、いつのまにか「土  
地の人」なっていました。気が付  
いた時には当地の出来事に一喜一  
憂し、高校野球も自分の出身校や  
出身県よりも当地の高校、更に福  
島県代表に入れ込んでいました。  
今は私にとって当地が地元であり  
故郷になりました。

が立ち並び、すっかり市街地化さ  
れました。

そして、かしま病院はと言えば、  
入職当時は初々しかった職員もい  
つものまにか中堅からベテランに成  
長し、病院の屋台骨を背負うこと  
もに後進の指導・育成にあたつて  
いる様子がよく見受けられます。  
また、入職された後に家庭を持ち、  
お子さんが成長され、今では「お  
じいちゃん」「おばあちゃん」にな  
っている方も少なくありません。

そんななか最近、職員のご息  
ご息女がかしま病院に入職され、  
更には親子でかしま病院に勤務さ  
れている姿をしばしば目にするよ  
うになりました。そんな時、口に  
こそ出ませんが、大変嬉しく感  
謝の気持ちで満たされます。

これからも職員や地域の皆さん  
のご息女・ご息女が、入職を希望  
されるような病院になつていく事  
を願っています。そして私も出来  
る限り、これからはささやかなが  
ら地域の医療に貢献していきたい  
と思っています。今年もどうぞよ  
ろしくお願い致します。



クリニックかしま院長  
佐野 久美子

明けましておめでとうござ  
います。

昨年「いわき市の地域医療を守  
り育てる基本条例」が制定され、  
市民・医療機関・市の役割がそれ  
ぞれに明文化されましたが、皆さ  
んご存知でしょうか？（詳細はい

わき市のホームページ参照）その  
中の一文には、医師・患者間の信  
頼関係の構築を図るべく双方で努  
力する事とあります。ごもつとも  
な内容ですが、具体的にはどうす  
べきでしょうか？最も大切な事は、  
やはり十分なコミュニケーション  
だと私は思います。医師・患者間  
といつても特別な事ではなく、通  
常の人間関係の構築と同じです。

日々の診療の中で感じることは、  
一方的になりがちな医師の説明が（医  
師が考えている以上に）患者さん  
には伝わっていないという事実です。  
これが、医師や医療に対する不信  
感や不満足につながり、臨時受診  
やドクターショッピングが増加す  
るという実態につながっていると  
思います。我々医療従事者は、一  
律の説明ではなく、患者さん個々  
人の諸条件を考慮した（いわゆる  
テーラーメイド）説明に心掛けな  
ければならないのだと感じています。  
とは言え、忙しい医師の側にも諸  
事情はありますので、そこはコメ  
ディカルとの連携体制で不足を補  
えればと考えています。

一方、患者さんにお願したい  
事として、不明な事や不安な事は、  
遠慮せずに尋ねてほしいという事  
です。もやもや感を残さずに診察  
を終えましょう。また、高齢者の  
方においては、たまには家族とと  
もに受診していただきたいと思  
います。家族に病状を知ってもら  
い、臨時受診が必要な状況を事前  
に医師に確認しておくという事が  
安心につながります。

クリニックかしまを受診なさる

患者さんが、きちんと病状を理解し、  
無駄な臨時受診をすることなく、  
安心してお過ごしただけですよ  
う努力していきたいと思  
います。今年もどうぞよろしく願  
いいたします。

かしま病院 副院長兼看護部長  
村上 佳代子

あけましておめでとうござ  
います。

本年がみなさまにとりましてよ  
い年でありますよう心からお祈  
りいたします。

超高齢化社会となる2025年  
に向けて、政府は「医療や介護が  
必要な状態となつても、可能な限  
り住み慣れた地域でその有する能  
力に応じ自立した生活を続けるこ  
とができるよう、医療・介護・予防・  
住まい・生活支援が包括的に確保  
される」体制づくりを推し進めて  
います。いわき市も医療（病院）  
と介護（在宅）の連携を強化する  
ために「いわき医療圏退院調整ル  
ール」を策定し、平成29年4月か  
ら運用を開始しました。かしま病  
院では10月1日に一般病棟の1  
つを地域包括ケア病棟へ転換する  
と共に、11月1日から地域医療連  
携室に退院調整部門を設置し看護  
師と社会福祉士を配置して、患者  
様が安心して退院し、早期に住み  
慣れた地域で医療や生活を継続で  
きるように体制を整えました。

看護部は、これらの動きに合わ  
せて、ご高齢の方の看護、ご家族

に対する看護、退院調整等の教育  
に力を入れてまいりました。今年  
も引き続き内容を充実させると  
もに、在宅看護についても強化し  
て地域の皆様のニーズに添えて行  
きたいと考えております。

また、看護師の知識・技術に加え、  
より専門的な分野の研修を積んだ  
認定看護師の養成を計画的に行つ  
ており、昨年は1名資格試験に合  
格し、来年度はさらに1名増える  
予定です。全部で6名となる認定  
看護師が、病棟・外来・在宅にお  
いて患者様とご家族へそれぞれの  
分野でより質の高い看護を提供す  
るのはもちろんのこと、看護師の  
教育も実施して、教育委員と共に  
看護のレベルアップを図つてまい  
ります。

今年も職員一同看護の質の向上  
に邁進しようと思っておりますので、  
どうぞよろしく願います。

